

テーマ1

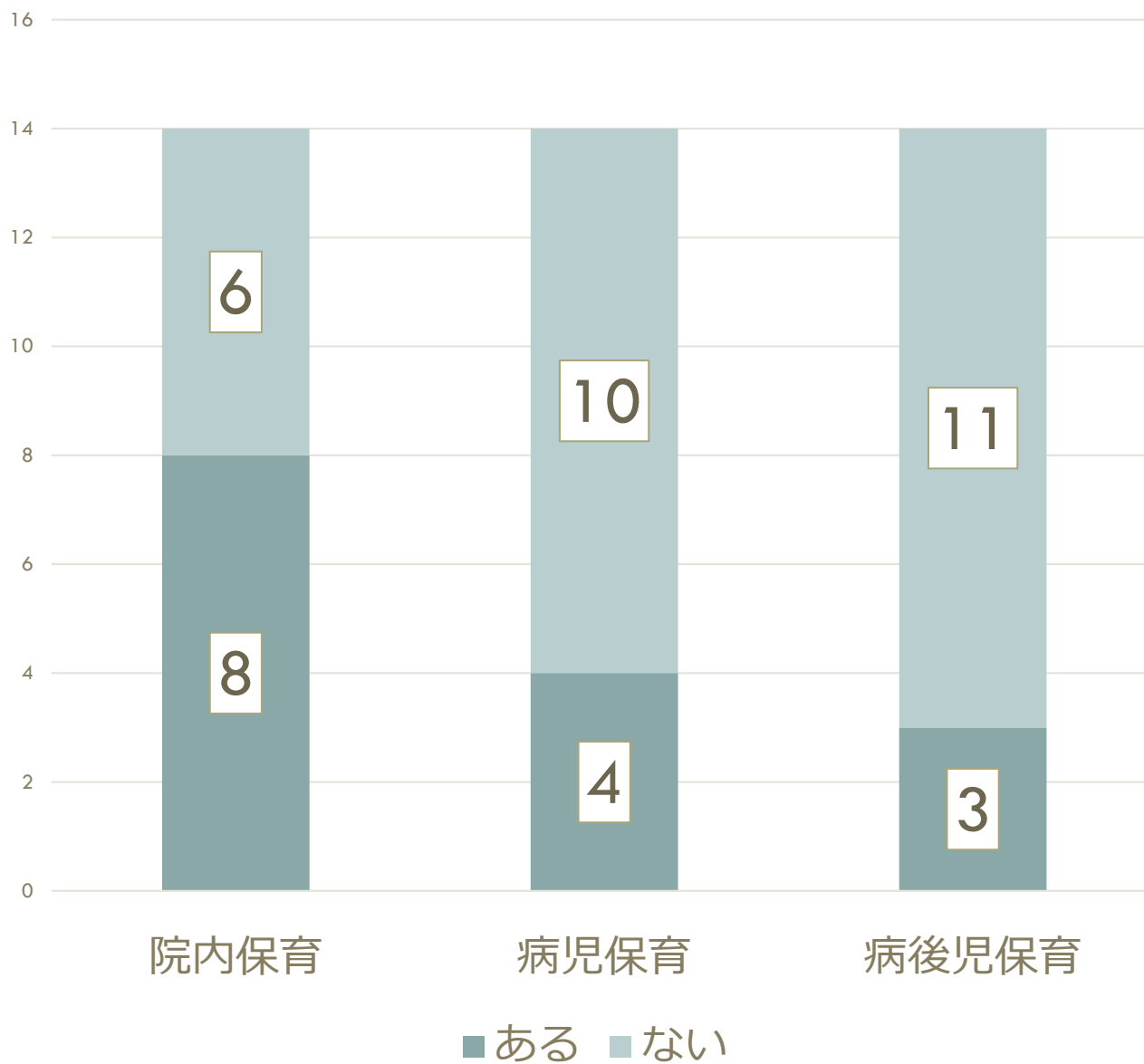
# 病児・病後児保育 について

秋田県医師会理事  
福嶋 孝子

院内保育

病児保育

病後児保育



# 資料 1

## 秋田県における院内保育・病児保育施設一覧

### 【研修指定病院における状況】

研修指定病院数	14		
	あり	なし	% (あり)
院内保育	8	6	57.1%
病児保育	4	10	28.6%
病後児保育	3	11	21.4%

(平成30年度)

No	施設名	種別 (研修病院orその他施設)	院内保育				病児保育				病後児保育		
			院内保育 (有or無)	定員	入園待ち (有or無)	医師の利用 (可or不可)	病児保育 (有or無)	予約 (必要or不要)	定員	年間利用 人数	医師の利用 (可or不可)	病後児保育 (有or無)	医師の利用 (可or不可)
1	大館市立総合病院	研修病院	有	20	無	可	有	申込が必要	4	6	可	無	
2	秋田大学医学部附属病院	研修病院	有	50	無	可	有	必要	2	延べ99	可	有	可
3	市立秋田総合病院	研修病院	有	20	無	可	有	必要	10	800	可	無	
4	秋田赤十字病院	研修病院	有	30	無	可	無					無	
5	中通総合病院	研修病院	有	24	無	可	有	必要	6	延べ550	可	無	
6	由利組合総合病院	研修病院	有	50	無	可	無					有	可
7	市立角館総合病院	研修病院	有	5	無	可	無					無	
8	平鹿総合病院	研修病院	有	40	無	可	無					有	可

# 市立秋田総合病院（病児保育）

資料 2

Q : 病児保育施設の対象者は？	Q : 定員は何人ですか。
A : 病院関係者および一般市民	A : 10人
Q : 年間何人の利用がありましたか。 （平成30年度）	Q : 医師の利用は可能ですか。
A : 800人	A : 可能。H30年度に男性医師と女性医師の利用があった。

## 施設の特徴、利用者の声・好事例

- ・ 医師の巡回がある
- ・ 7時から開園であり助かる
- ・ インフルエンザ（罹患初日から）預けることができ助かる

# 中通総合病院（病児保育）

Q：病児保育施設の対象者は？	Q：定員は何人ですか。
A：病院関係者および一般市民	A：6人
Q：年間何人の利用がありましたか。 （平成30年度）	Q：医師の利用は可能ですか。
A：延べ550人	A：可能。H30年度に男性医師と女性医師の利用があった。

## 施設の特徴、利用者の声・好事例

1日1回、小児科医師の回診あり。パルスオキシメーターなどの医療機器を整備し、病状悪化時には入院診療への速やかな移行が可能。

病院の医師や感染制御チームと連携し、感染症対策を実施している。

## お役立ち情報

### 施設

### 各種手当・助成

資料 3



市町村子育て  
支援センター



Child care

# 秋田で育てる

子育て家庭を全力サポート!

秋田県のさまざまな取組を

ぜひ利用してください。



児童扶養手当



一時預かり



福祉医療制度

### その他お役

あきたの結婚・子育て応援情報Webサイト

# いっしょにねっと。

2019年2月1日 Webサイトリニューアル

秋田県あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課 ☎018-860-1553



子育てタクシー

あふれちゃんの  
えほんばこ

こどものえき

市町村窓口

市町村ネウボラ



こころとからだの  
相談室

### 市町村子育て支援施策一覧

施策一覧ページへ



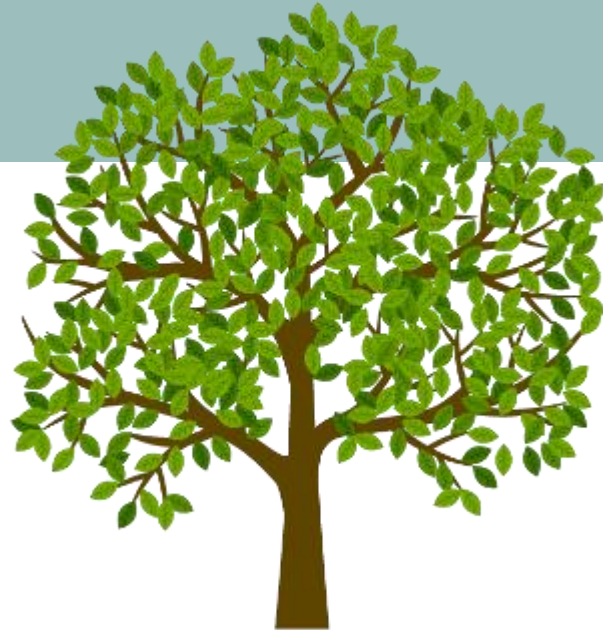
こどもの救急  
電話相談室



Facebookページへ

テーマ2

# 相談窓口事業の 役割と課題について



# 事業の始まりと主な（周知）活動

平成21年 秋田県女性医師就業相談窓口設置運営事業 受託

「あきた女医ネット」HP運営開始

相談員 5名委嘱（単年）

## 1 事業の目的

出産・育児及び離職後の再就業に不安を抱える女性医師等に対し、県において受付・相談窓口を設置して、復職のための研修受入医療機関の紹介や出産・育児等と勤務との両立を支援するための助言等を行い、女性医師等の離職防止や再就業の促進を図ることを目的とする。

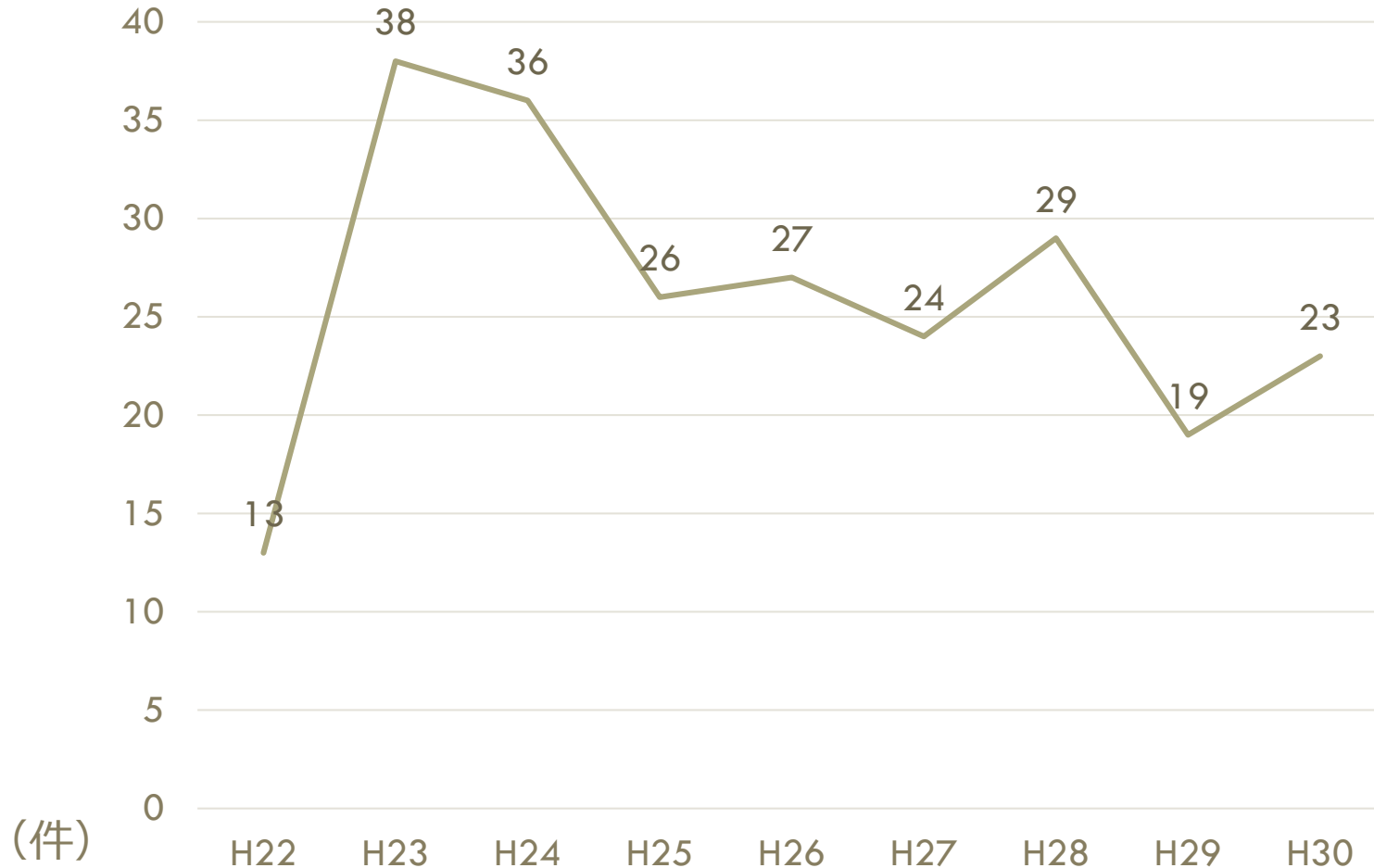


## 9/30～12/5 チラシ5000枚強配付

当会全会員、県内病院、由利本荘医師会、秋田県医師会医学講座（中央地区）、秋田県医師会医学講座（県北地区）、秋田県医務薬事課、小児アレルギーフォーラム、小児保健会総会、秋田大学医学部5、6年生分、大曲仙北医師会学術講演会、秋田県脊椎脊髄病研究会、その他女性医師の集会、秋田県頭頸部腫瘍セミナー、大曲仙北医師会循環器勉強会、第8回秋田P C Iライブ、秋田大学付属図書館・医学部分館、日医生涯教育協力講座セミナー、第59回日本アレルギー秋季学術大会、第21回秋田県臨床内科医会、県北医学会、産業医・産業看護全国協議会・産業医研修会、全国医科系大学、前立腺がん検診研修会、秋田県学校保健・学校医研究会並びに学校精神保健研究会、健康スポーツ医学再研修会・産業医研修会、秋田県医師会マンモグラフィ講習会...他

毎年、新医師歓迎レセプション、医学生・研修医をサポートする会、キャリアカフェ、病院訪問等でチラシを配付

# 実際の相談件数



・ほとんどは、秋田大学医学部所属の相談員が面談等に対応したものの。

・窓口の直接相談の連絡があったのは、10年間で2～3件。

# 県との協議

○平成28年度委託費積算内訳

経費区分	
1 活動経費	
○相談員報酬	相談員5名 事務員1名
2 運営経費	
○需用費	PRチラシ印刷費、ホームページ更新料、コピー代等
○役務費	電話料、サーバ使用料、郵送料等
3 運営会議費	
○運営委員会経費	委員謝金 委員旅費
○相談員旅費（相談員会議、研修会、病院訪問）	全国会議、研修会（東京） ブロック会議（秋田県内） 病院訪問（県内）
○女性医師支援センター事業 北海道・東北ブロック会議（主催県）	会場費、資料作成費
○研修医、医学生をサポートする会	会場費、講師謝礼、チラシ印刷費
○女性医師の勤務環境の整備に関する、病院長、病院開設者・管理者等への講習会	会場費、講師謝礼、資料作成費

○平成29年度委託費積算内訳

経費区分	
1 勤務環境改善推進・啓発事業	
○勤務環境に関するアンケート、女性医師ニーズ把握調査	印刷費 発送費 HP更新料
○病院訪問	交通費
○「イクボスセミナー」等の開催	会場費 講師謝礼 資料作成費
2 若手医師、研修医支援事業	
○「医学生、研修医をサポートする会」、「キャリアカフェ」等の開催	会場費 講師謝礼 資料作成費
3 就業相談窓口設置事業	
○相談員による相談対応	相談員報酬
4 その他	
○事務員人件費	事務員1名
○運営委員会経費	委員謝金 委員旅費

・平成28年度→平成29年度 事業積算・項目の見直し、活動内容の再検討を行った。

・「相談員」の活動主体を、相談対応から病院訪問へシフトする

・「相談が来るのを待つ」のではなく、「聴きに行く」

# 現状・今後の展望

平成25年度

中通総合病院

医師7名

研修医5名

病院事務4名

県医4名

平成28年度

平鹿総合病院

医師11名

研修医7名

看護部長

病院事務2名

県医3名

平成29年度

大館市立総合病院

医師6名

研修医10名

病院事務1名

県医3名

市立秋田総合病院

医師7名

研修医10名

病院事務3名

県医4名

平成30年度

由利組合総合病院

医師2名

研修医5名

病院事務1名

県医3名

秋田厚生医療センター

医師8名

研修医6名

病院事務2名

県医5名

令和元年度

本荘第一病院、

秋田赤十字病院

医師5名

研修医6名

病院事務1名

県医4名

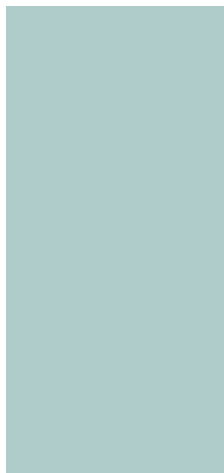
(令和2年1月に訪問予定)



・上司の意識が変わらないと、子育て中の女性医療関係者は仕事が続けにくい。（夕方遅くにオーダーしてくる→保育所へのお迎えが遅くなるなど）「イクボス宣言」の意識は大事と考えている。（研修医）

・こういった会で、色々な取り組みや使用できるシステムがあることを聞いたのは良いことだった。情報に触れないドクターも多いと思うので、県内各所で開催していただきたい。

・近々（女性医師と）結婚を考えているので、女性が働きやすい環境になっていたらありがたいと思う。（研修医）



・現在研修中なのでまずは研鑽を積みたいという思いが強いが、自分が上級医師になった時には、男性・女性の後輩たちが育休を取りやすい環境にしてあげることができればと思う。（研修医）

・院内の医師確保対策協議会委員になったので、現場の意見や色々なお話を耳に入りたいと思い参加した。（中堅医師）



・若手医師には、自分が周りから求められるような人材になってもらいたい。子どもを預けられたら1時間でも来て欲しいと言われるような強みを持つことで、自分自身も後ろめたい気持ちが無く堂々と来ることができると思う。（副病院長）

・「医師の働き方改革」など意思決定の場で上の人たちが決めるだけでなく、若い人たちの意見を取り入れて欲しい。（研修医）

・大変申し訳ないが、女性医師の実情というのをよく理解してなくて、実際にどのくらいの女性医師の方が困っているかが分からないので、そういうことを教えていただきたい。日中だけや午前中だけでも働いていただける先生がいるとありがたいと思うが、どこに頼めば医師を紹介していただけるかを今まで全く知らなかったというのが現状。なかなかこの活動がまだ浸透していないのではないかなと思う。今回初めて参加したが、こういう機会であるべく今後理解していきたいと思う。（中堅医師）

・実際に支援を受けた方の意見を聞くことができ、ためになりました。

